

令和5年度

教 育 計 画

岡山県農林水産総合センター
農 業 大 学 校

Okayama Prefectural Technology Center
for Agriculture , Forestry and Fisheries

College of Agriculture

本 校 〒701-2223 赤磐市東窪田 157
(086) 955-0550

旭分校 〒709-3494 久米郡美咲町北 2272
(0867) 27-3321

目 次

1	教育の目標	1
2	教育の特色	1
3	教育（授業）の方法	1
4	教育体系	2
5	教育の内容	3
	(1)教育の進め方	3
	(2)教科時間数	4
	(3)授業科目及び時間	5
	(4)年間授業計画	10
	(5)専攻別演習・実習計画	16
	(6)総括学習	26
	(7)資格・免許の取得	28
6	学習評価基準	28
7	教育・生活日課表	29
8	先進農家留学研修実施要領	30
9	短期研修等実施計画	31
10	令和5年度応用技術研修等計画	32
11	令和4年度主要行事	33
12	岡山県農林水産総合センター農業大学校施設配置図	34

1 教育の目標

農業の実践教育を通して、将来の岡山県農業を担う青年農業者を育てるとともに、農業に関係する団体や企業等を支える多様な人材を育成する。

2 教育の特色

- (1) 農林水産総合センターの機能を最大限活用し、試験研究・普及と一体となった実践的技術教育を行う。
- (2) パソコンによる情報処理や各種資格等、社会から求められる知識と技術を身に付けるとともに、ICT技術を活用したスマート農業やGAP等これからの農業に必須となる先端技術について幅広い教育を行う。
- (3) 県内の農業普及センターや先進農家との連携を図り、農家留学研修やインターン研修を通して篤農家の技術を学ぶとともに実践的な経営感覚を醸成する。
- (4) 校内において自分自身で実際に栽培や飼育を行うプロジェクト学習を実施し、これらの実習を通して実際の栽培技術や飼養管理を習得する。
- (5) 全寮制による教育で協調と自律の精神を養い、共同の生活感覚を身に付ける。
- (6) 担い手の育成を図るため、開かれた農業大学校として、一般農業者や新規就農者等を対象にトラクター運転技術、アーク溶接等の応用技術研修を行う。

3 教育（授業）の方法

期 間	教 科 内 容(授業形態)	場 所
1学年 (4月～12月)	教養科目 (講義、実技) 共通専門科目(講義、実験、実習、演習) 専攻科目 (講義、実験、専攻実習)	本校
1学年 (1月～3月) 2学年 (4月～12月)	教養科目 (講義、実技) 共通専門科目(講義) 専攻科目 (講義、専攻実習) (プロジェクト学習)	本校(園芸課程) 分校、本校 (畜産課程)
2学年 (1月～3月)	教養科目 (講義、実技) 共通専門科目・専攻科目 (農学演習、農業経営演習)他	本校

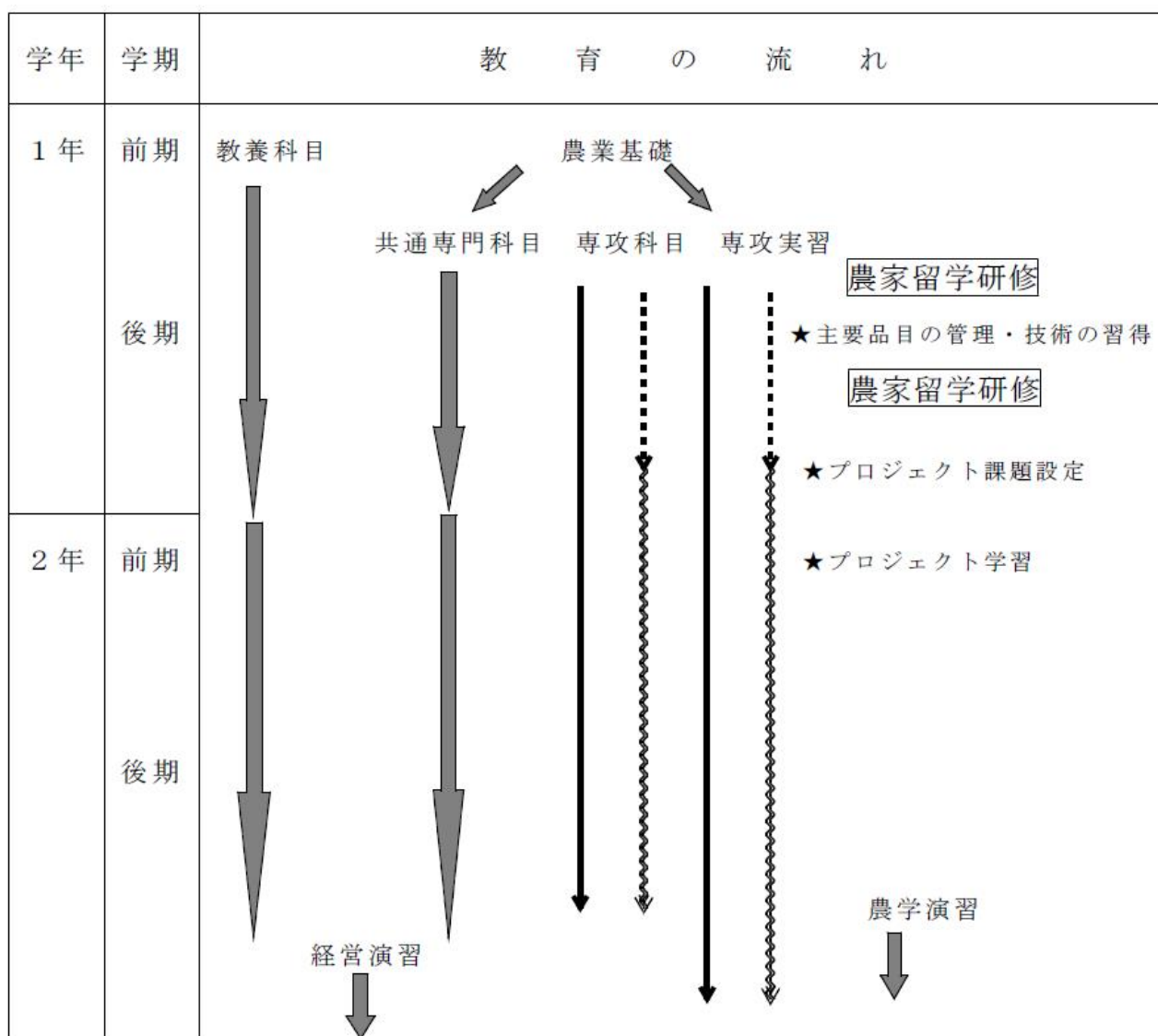
- ・ 1学年12月まで：全課程が本校で教養科目や共通専門科目を履修する。
専攻科目は専攻コース毎に授業を行う。
- ・ 1学年1月～2学年12月：園芸課程は本校、畜産課程は主に分校で授業を行う。
教養科目や共通専門科目については全課程が本校で授業を行う。
- ・ 2学年1月～：全課程が本校で授業を行う。

4 教育体系

先進的な経営を行うにふさわしい人材を養成するため、1年次に農業に関する基礎的な知識を学び、作物や家畜の生理、生態や生産基本技術を学ぶ専攻科目と、作目への理解をより深めるための共通専門科目の習得を組み合わせ、さらに、全履修時間の概ね50%を農場での専攻実習とし、実践教育による専攻作目の共通技術を体得させる。特に、前期、後期の2回に分けた農家留学研修で農業経営者の技術や経営、生活等に対する考え方を産地現場において学習する。

2年次では自ら課題を設定し、自ら計画を実行し課題解決を計るプロジェクト学習を農場で実践することを主眼に、農業経営を実践するうえで必要な共通専門科目や専攻科目も合わせて習得し、プロジェクト学習の成果と農業経営計画を完結させる。

なお、2年間の教育の中で、一般社会での生活に役立つ教養科目や社会的に専門技術能力が認められる各種資格免許取得研修などを計画的に実施する。



※ : 全課程履修(本校)

: 園芸課程履修(本校)

: 畜産課程履修(本校)

: 畜産課程履修(分校、本校)

5 教育の内容

(1) 教育の進め方

「県農林水産総合センター」の研究部門（農業研究所、畜産研究所等）や普及部門と一体となって、岡山県の農業振興方針を踏まえ、低コスト、高付加価値生産を進めるため、先進的な生産知識・技術等を身につけ、企業的経営能力・創造力の開発、地域リーダーとなり得る人材の育成に努める。

ア 就農意欲を高めるための教育

農家留学研修等による実践的経営感覚の習得。先進技術・応用技術研修など就農者としての必要な資格などの取得。

イ 先端技術・高度情報化等に対応するための教育

農業技術の高度化に対応できるバイオ技術や ICT 活用技術などの知識・技術の習得。

ウ 低コスト、高付加価値生産を推進するための教育

プロジェクト学習等を中心に実践教育を行い、生産コストの低減や生産物の高品質、高付加価値化を進めるのに必要な知識・技術の習得。

エ 企業的な経営能力の開発・促進するための教育

経営者能力が身に付くよう、生産性の向上、経営の分析、マーケティング等のコスト感覚の養成に関する知識・技術の習得。

オ 地域リーダーとしての能力開発をするための教育

将来の地域リーダーとしての能力開発を図るため、広い視野と人間性豊かな人格の形成ができるよう、マナー、社会文化、社会常識等の一般教養の習得。

カ 創造性の開発を促進させるための教育

国際経済の自由化、グローバル化の中の農業は、独創的な発想、実行力が必要とされるため、これらに対応できる能力の習得。

キ 時代のニーズに応え学習意欲を高めるための教育

岡山大学等の外部講師による園芸概論、農業法規、農政時事問題、集落管理計画論等の専門的共通科目や有機農業、GAP、フラワー装飾、6次産業化、スマート農業など社会的に関心が高い分野についての教育内容を充実。

ク 学校生活に活力をみなぎらせる教育

魅力と活力ある学校生活とするため、特別講義、校外研修、クラブ活動、収穫祭などの特別活動。学生に目的意識や自主性を身につけさせるため、自治会行事など課外活動の自主的活動の実施。

(2) 教科時間数

教科	学年	科目数	講義	実技・演習	実験	実習	特別活動等	時間数計
教養科目 A	1	6	92	60				152
	2	3	4	52				56
	計	9	96	112				208
特別活動等 B	1	6	20			(148)	144	164
	2	5				(136)	116	116
	計	11	20			(284)	260	280
共通専門科目 C	1	17	216	76	56	260		608
	2	7	116	192				308
	計	24	332	268	56	260		916
園芸共通科目 D	1	2	56					56
	2	6	84					84
	計	8	140					140
園芸専攻科目 E	1	3	40			636		676
	2	4	96	144		736		976
	計	7	136	144		1,372		1,652
園芸課程小計 G (C+D+E)	1	22	312	76	56	896		1,340
	2	17	296	336		736		1,368
	計	39	608	412	56	1,632		2,708
園芸課程合計 (A+B+G)	1	34	424	136	56	896	144	1,656
	2	25	300	388		736	116	1,540
	合計	59	724	524	56	1,632	260	3,196
畜産専攻科目 F	1	7	132			600		732
	2	9	132	144	16	768		1,060
	計	16	264	144	16	1,368		1,792
畜産課程小計 H (C+F)	1	24	348	76	56	860		1,340
	2	16	248	336	16	768		1,368
	計	40	596	412	72	1,628		2,708
畜産課程合計 (A+B+H)	1	36	460	136	56	860	144	1,656
	2	24	252	388	16	768	116	1,540
	合計	60	712	524	72	1,628	260	3,196

(注) 1時間は45分授業

(3) 授業科目及び時間

ア 教養科目

科 目	講 師	内 容	時 間			
			1年	2年	計	
人間と社会	学識 経験者	和太鼓、フラワーアレンジ、ペン習字、英語から 1科目選択	実技	40	32	72
くらしと環境	農 大	交通安全・防火訓練、健康対策、農業気象、栄養 管理等に関する講習・講義	講義	20	4	24
体 育	農 大	ソフトボール、卓球、バドミントン等	実技	20	20	40
応用化学Ⅰ	農 大	毒劇物を中心とした法律と化学関係の講義	講義	20	(※20)	20
応用化学Ⅱ	農 大	危険物を中心とした法律と化学関係の講義	講義	20	(※20)	20
社会科学基礎	農業経営者 民間他	就農や就職に向けた社会科学関係の基礎知識の習 得（オムニバス形式）	講義	32		32
合 計				152	56	208

※は希望者の選択

イ 特別活動等：以下の科目は校則第20条第1項の規定における考査の対象とはならない

科 目	講 師	内 容	時 間			
			1年	2年	計	
特別活動	農 大	環境美化、就農・就職説明会等	特活	24	28	52
校外研修	農 大	県内、県外の農業産地・施設の視察研修等	特活	16	8	24
プロジェクト 発表会	農 大	プロジェクトの計画、中間発表、専攻別成績発表 等	特活	48	44	92
定期試験	農 大	学期末試験等	特活	16	8	24
主要行事他	農 大	始業式、入学式、農大体育の日、収穫祭、農家留 学成果発表会、卒業式、終業式、オリエンテー ション	特活	40	28	68
資格免許等 取得研修	民間他	大型特殊自動車（農耕車限定）、けん引（農耕車 限定）、家畜人工授精師、アーク溶接、フォーク リフト、小型車両系建設機械等の実技	実技	(※148)	(※136)	(※284)
その他	農 大	基礎数学・狩猟免許講習、海外農業研修、日本農 業技術検定学習等	講義	20		20
合 計				164	116	280

※は希望者の選択

ウ 共通専門科目

科 目	講 師	内容及び到達目標	時 間			単位 数		
			1年	2年	計			
農業基礎	農産課 農大 民間	農業の現状を理解するとともに、農作物栽培の基礎知識や農機具の使い方等を習得する。	講義	20		20	1	
選択	生物工学実験	農業開発研究所、農大	植物の生長点等の無菌培養技術とバイオテクノロジーの知識を習得する。	実験	36		36	1
作物概論	普及推進課 農業研究所	稲作の現状と動向、稲の生理生態、育苗・本田管理・施肥・収穫等栽培技術等を理解する。	講義	20		20	1	
園芸概論	岡山大学	園芸作物の生理生態・繁殖法、園芸の役割等を理解する。	講義	20		20	1	
園芸基礎	農 大	園芸作物の全般的な基礎知識や、一般的な栽培方法について理解する。	講義	24		24	1	
農家留学研修	農 家	先進農家での農作業・生活体験を通じ、農家の現状を理解する。	実習	248		248	8	
畜産概論 (畜産学)	農 大	畜産における家畜生産と利用、育種、家畜管理、畜産経営等を理解する。	講義	24		24	1	
集落管理計画論	岡山大学	農村地域の課題を理解し、リーダー育成に向けた事例研究、ワークショップ等を習得する。	講義	20		20	1	
土壌肥料実験	農 大 農業研究所	土壌肥料の化学分析、土壌調査等の手法を習得する。	実験	20		20	1	
土壌肥料概論	普及推進課 農業研究所	土壌の基本的性質、土壌管理、肥料の種類と性質、施肥設計等を理解する。	講義	28		28	1	
農業経営論	農業研究所	農業経営の仕組み、マーケティングや農業・農村の役割等を理解する。	講義	20		20	1	
農政時事問題	岡山大学	農政時事全般についての見識を深める。	講義	20		20	1	
GAP実践論	農産課 農大 民間	GAPに関する模擬演習や講義を通じ、知識を深める。	講義	20		20	1	
農業機械利用	民 間	農業機械と農作業、トラクター等農作業機の構造と取扱法等を理解する。	演習	24		24	1	
農業施設整備実習	民 間	簡易ハウスの設計、組立、分解操作を習得する。	実習	12		12	1	
農業法人論	学識経験者	農業法人の種類、法人化のメリット、貸借対照表の見方等を理解する。	講義		20	20	1	
農業法規	岡山大学	農地法、農業経営基盤強化法等農業関連法令に関する知識を深める。	講義		20	20	1	
6次化起業論Ⅱ	農業開発研究所	6次産業化商品の試作や開発、販売方法、需要動向等の講義を通じ、理解を深める。	講義		28	28	1	
農業経営分析論	普及推進課 他	経営分析診断の手法、税金の仕組み、青色申告の仕方等により経営分析の手法を理解する。	講義		24	24	1	
情報処理	民 間	ワープロ・表計算(1年)とワープロ・表計算応用、パワーポイント(2年)の操作方法を習得する。	演習	32	32	64	4	
農業経営演習	農 大	農家留学研修の地域調査、報告書まとめ(1年)、経営計画の作成等(2年)により農業の現状と課題を把握する。	演習	20	160	180	8	
スマート農業実践論	農 大 民間	スマート農業の現状と基礎知識を講義や視察研修を通じ、理解する。	講義		24	24	1	
合 計				608	308	916	39	

エ 園芸課程

(ア)共通科目

科 目	講 師	内容及び到達目標		時 間			単 位 数	
				1年	2年	計		
作物保護論	農業研究所	植物病害の概念、病原、発病の生態、防除法、害虫の概念、生態、被害態様、防除法等に関する知識を深める。	講義	28		28	1	
6次化起業論Ⅰ	農業開発研究所	6次産業化に必要な知識(農産物の成分、農産物の品質と変質、発酵食品、園芸食品の加工等)を講義・実技により理解を深める。	講義	28		28	1	
1 科 目 選 択	フラワー装飾	学識経験者	講義や実技を通し、フラワー装飾技能資格2・3級取得試験を目指す。	講義		20	20	1
	有機農業論	農産課、農大、農業研究所等	有機農業の定義、土づくり、栽培基準、認証制度と表示等に関する知識を講義・視察研修を通じて深める。	講義		20	20	1
1 科 目 選 択	造園設計	学識経験者	造園の基礎、設計、測量技術、庭園管理技術等に関する知識を講義・実技により深める。	講義		20	20	1
	森林資源活用	森林研究所 他	森林資源の特性や利活用等に関する知識を講義・実技により深める。	講義		20	20	1
施設園芸論	岡山大学	施設園芸の特色、施設の種類と利用法等に関する知識を深める。	講義		20	20	1	
生産物流通論	農業団体、企業 経営者、農業者 市場等	農産物流通の現状と動向、消費者ニーズとマーケティング、卸売市場のしくみ等の知識を講義・視察研修により深める。	講義		24	24	1	
合 計					56	84	140	6

(イ)専攻科目

①果樹コース

科 目	講 師	内容及び到達目標	時 間			単位数	
			1年	2年	計		
果樹園芸総論	農 大	果樹の種類、繁殖法、栽培適地、果樹園の開設、生理、整枝とせん定法、土壌管理と施肥技術、施設栽培等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
果樹園芸各論	農大 農業研究所 普及推進課	もも、ぶどう等本県主要果樹の品種特性や栽培管理技術、新技術等に関する知識を深める。	講義	20	64	84	4
果樹経営論	農 大	果樹経営の歴史と現状、改善方法等を県内外先進農家等の経営事例調査等により理解する。	講義		32	32	2
農学演習	農 大	別表のとおり（16～17ページ参照）	演習		144	144	5
*専攻実習	農 大	農業普及指導員資格のある職員が、現場産地での栽培指導等、長年の実務経験を活かし実習の指導にあたる。別表のとおり（16～17ページ参照）	実習	636	736	1,372	33
合 計				676	976	1,652	45

②野菜コース

科 目	講 師	内容及び到達目標	時 間			単位数	
			1年	2年	計		
野菜園芸総論	農 大	野菜の種類と増殖技術、作型、育苗技術、土壌管理と施肥技術、施設栽培、養液栽培、機械化技術等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
野菜園芸各論	農大 農業研究所 普及推進課	トマト、なす、きゅうり、いちご等主要品目の品種特性や栽培管理技術、新技術等に関する知識を深める。	講義	20	64	84	4
野菜経営論	農 大	野菜経営の歴史と現状、改善方法等を県内外先進農家等の経営事例調査等により理解する。	講義		32	32	2
農学演習	農 大	別表のとおり（18～21ページ参照）	演習		144	144	5
*専攻実習	農 大	農業普及指導員資格のある職員が、現場産地での栽培指導等、長年の実務経験を活かし実習の指導にあたる。別表のとおり（18～21ページ参照）	実習	636	736	1,372	33
合 計				676	976	1,652	45

③花きコース

科 目	講 師	内容及び到達目標	時 間			単位数	
			1年	2年	計		
花き園芸総論	農 大	花きの種類と育種方法、繁殖と種苗生産、土壌管理と施肥技術、生長と開花調節の方法、環境調節技術等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
花き園芸各論	農大 農業研究所 普及推進課	きく、カーネーション、ばら、シクラメン、洋らん、花壇苗等主要品目の品種特性や栽培管理技術、新技術等に関する知識を深める。	講義	20	64	84	4
花き経営論	農 大	花き経営の歴史と現状、改善方法等を県内外先進農家等の経営事例調査等により理解する。	講義		32	32	2
農学演習	農 大	別表のとおり（22～23ページ参照）	演習		144	144	5
*専攻実習	農 大	農業普及指導員資格のある職員が、現場産地での栽培指導等、長年の実務経験を活かし実習の指導にあたる。別表のとおり（22～23ページ参照）	実習	636	736	1,372	33
合 計				676	976	1,652	45

* 実務経験のある教員等による授業科目

才 畜産課程

和牛コース

科 目		講 師	内容及び到達目標	時 間			単位 数	
				1年	2年	計		
飼料学	飼料作物	農 大	飼料の種類・特徴、飼料作物の栽培利用技術等に関する知識を深める。	講義	24		24	1
	家畜栄養	岡山大学	消化器、栄養素の分類、消化吸収、物質代謝等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
畜産物利用論		岡山大学 農大 民間	畜産物原料と加工利用に関する知識を深める。	講義	24		24	1
家畜管理		分 校	家畜環境、行動、畜舎施設等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
家畜 繁殖学	家畜繁殖	分 校	家畜の繁殖生理、ホルモン、妊娠及び分娩等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
	家畜育種	分 校	育種、遺伝、人工授精、生殖器解剖等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
家畜 飼養学	家畜飼養	農 大	家畜飼養管理技術に関する知識を深める。	講義	24		24	1
	家畜疾病	分 校	家畜の疾病の原因、症状、予防、衛生管理等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
	畜産 経営論	農 大 分 校	肉用牛経営の現状や課題や改善方法を県内外先進農家の経営事例調査を通じ理解する。	講義		36	36	2
草地管理		分 校	草地概論、草地造成、草地管理利用、貯蔵飼料等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
生物工学実験Ⅱ		分 校	受精卵の移植技術操作等を実験を通し、理解する。	実験		16	16	1
研究ゼミ		農 大	自主的な課題研究を行い、自己研鑽を図る。	講義		16	16	
畜産環境保全		分 校	家畜排せつ物の処理方法、環境保全技術等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
農学演習		農 大	別表のとおり（24～25ページ参照）	演習		144	144	5
*専攻実習		農 大 分 校 農 家	農業普及指導員の資格のある職員や畜産研究所で家畜の飼育管理を行っている職員が、その実務経験を活かし、実習の指導にあたる。 また、現地農場での実習を合わせて行い、より実際に即した先進的な技術を習得する。別表のとおり（24～25ページ参照）	実習	600	768	1,368	33
合 計					732	1,060	1,792	51

* 実務経験のある教員等による授業科目（2年時は外部農家での実習168時間を含む）

(4)年間授業計画(令和5年度)

月	学年	月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜		備考	
		I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10				
		4月3日		4月4日		4月5日		4月6日		4月7日			
	1年園芸	—											
	1年畜産	—											
	2年園芸	—											
	2年畜産	—											
		春期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)											
4月	1年園芸	入学式	4月10日	オリエンテーション	4月11日	農業基礎① (概論+動噴)	4月12日	農業基礎② (トブカー等)	4月13日	農大体育の日 (自治会活動)	4月14日	農業基礎③ (刈払機研修)	4/10 入学式 始業式
	1年畜産	特別活動		実習【顔合せ】		農業基礎② (トブカー等)		農業基礎④ (刈払機研修)					
	2年園芸	始業式(オリテ)		実習		農業基礎②		農学演習②					
	2年畜産	特別活動		実習【顔合せ】		農業基礎②		農学演習②					
	1年園芸	実習	4月17日	人間と社会①	4月18日	実習	4月19日	基礎数学【その他】	4月20日	実習	4月21日	園芸基礎① (花き)	
	1年畜産	専攻総論①		実習		基礎数学【その他】		実習					4/22 野菜の日
	2年園芸	家畜飼養①		農業演習④		実習		実習					
	2年畜産	実習		農業演習④		実習		家畜育種①					
	1年園芸	実習	4月24日	プロジェクト発表会	4月25日	プロジェクト発表会	4月26日	実習	4月27日	校外研修【視察】	4月28日	園芸基礎② (野菜)	4/25 プロジェクト 計画発表会
	1年畜産	専攻総論②						実習					
	2年園芸	家畜飼養②						実習					
	2年畜産	実習						実習					
	1年園芸	実習	5月1日	園芸概論①	5月2日	くらしと環境① 消防	5月3日	憲法記念日	5月4日	みどりの日	5月5日	こどもの日	
	1年畜産	実習		農業経営分析論①				憲法記念日					
	2年園芸	実習	5月8日	人間と社会②	5月9日	専攻総論③ 家畜飼養③	5月10日	鳥獣害・狩猟【その他】	5月11日	経営演習 I ① 作物概論①	5月12日	園芸基礎③ (果樹)	
	2年畜産	実習		農業経営分析論②		農業飼養③		鳥獣害・狩猟【その他】		経営演習 I ② 作物概論②			
1年園芸	実習	5月15日	プロジェクト 中間発表会	5月16日	農業経営分析論③	5月17日	専攻総論④ 家畜飼養④	5月18日	専攻各論 II ① 専攻各論 II ②	5月19日	選択:造園設計① 生物工学 II ③		
1年畜産	実習		農業経営分析論④		農業経営分析論③		専攻総論④ 家畜飼養④		専攻各論 II ③ 家畜疾病③				
2年園芸	実習	5月22日	海外農業研修【その他】	5月23日	体育①	5月24日	選択:777-装飾② 家畜育種④	5月25日	生産物流通論① 実習	5月26日	選択:生物工学 α ② 選択:造園設計② 生物工学 II ④	5/16 プロジェクト中 間発表会	
2年畜産	実習		農業経営分析論④		農業経営分析論④		選択:777-装飾② 家畜育種④		生産物流通論② 家畜疾病④				
1年園芸	実習	5月22日	園芸概論②	5月23日	園芸概論②	5月24日	実習	5月25日	法人説明会① 作物概論③	5月26日	選択:生物工学 α ③ 選択:生物工学 β ③		
1年畜産	実習		園芸概論②		園芸概論②		実習		作物概論③				
2年園芸	実習		農業経営分析論④		農業経営分析論④		家畜飼養⑤		生産物流通論② 実習				
2年畜産	実習		農業経営分析論④		農業経営分析論④		実習		生産物流通論③ 実習				

(4)年間授業計画(令和5年度)

月	学年	月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜		備考	
		I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10				
6 月	1年園芸 1年畜産	実習	体育②	経営演習Ⅰ③	実習	日農技検学習【その他】	法人説明会②	作物概論④	選択:生工工学α④	選択:生工工学β④			
	2年園芸 2年畜産	実習	人間と社会③	農業法人論①	選択:フワ-装飾④ 実習	選択:有機農業① 草地管理①	生産物流通論③ 実習	専攻各論Ⅱ④ 畜産経営論①	実習 実習	選択:造園設計④ 農学演習⑦			
	1年園芸 1年畜産	実習	園芸概論③	6月6日	実習	園芸基礎④ (実樹)	スマート農業論①	作物概論⑤	試験	特別活動	6/10 オープンキャンパス①		
	2年園芸 2年畜産	実習	農業経営分析論⑤	プロジェクト 中間発表会	実習	選択:フワ-装飾⑤ 草地管理②	生産物流通論④ 実習	選択:造園設計⑤ 畜産経営論②	実習 研究ゼミ①				
	1年園芸 1年畜産		6月12日	6月13日	6月14日	6月14日	6月15日	6月16日					
	先進農家留学研修												
	1年園芸 2年園芸 2年畜産	実習	実習	農業法人論②	実習	実習	選択:森林資源① 草地管理③	農業演習⑦ 畜産経営論③	実習 実習	実習 実習	農学演習⑧		
	1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	経営演習Ⅱ②	6月20日	実習	実習	専攻各論Ⅱ⑤ 草地管理④	選択:有機農業③④【視察】 畜産経営論④	実習 実習	実習 実習	研究ゼミ②		
	1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	6月26日	6月27日	6月28日	6月28日	6月29日	6月30日					
	先進農家留学研修												
	1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	実習	スマート農業論②③【演習】	実習	実習	園芸演習⑧ 草地管理⑤	園芸経営論①②【視察】 畜産経営論⑤	実習 実習	実習 実習	農学演習⑨		
	1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	実習	園芸概論④	体育③	実習	園芸基礎⑤ (花芝)	集合管理計画論① 園芸経営論③④⑤⑥【県外視察】	実習 実習	実習 実習	選択:生工工学α⑤ 選択:生工工学β⑤		7/8 日本農業技術 検定
1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	実習	人間と社会④	7月11日	実習	園芸演習⑨ 校外研修	校外研修 校外研修	実習 実習	実習 実習	校外研修 校外研修		7/11 プロジェクト中 間発表会	
1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	実習	6月17日	7月18日	実習	7月19日	7月20日	7月21日	7月21日	7月21日		7/12-13 小型建機	
海の日													
1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	実習	園芸概論⑤	応用化学Ⅰ②	実習	実習	くらしと環境② DV	集落管理計画論②	実習 実習	選択:生工工学α⑦ 選択:生工工学β⑦			
1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	実習	実習	農業演習⑩	農業法人論⑤	実習	選択:有機農業⑤ 校外研修	農学演習⑩ 校外研修	専攻各論Ⅵ⑥	実習 実習	実習 実習			
1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産	情報処理①	情報処理②	情報処理②	実習	実習	7月26日	7月27日	7月28日	7月28日	7月28日		7/24 あぐり夢 未来塾	
2年園芸 2年畜産	農業法規①	情報処理①	情報処理①	実習	実習	7月26日	7月27日	7月28日	7月28日	7月28日		7/29 オープン キャンパス②	

(4)年間授業計画(令和5年度)

月	学年	月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜		備考	
		I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10				
8 月	1年園芸	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	夏期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)						
	1年畜産	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	夏期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)						
	2年園芸	8月14日	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	夏期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)						
	2年畜産	8月21日	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	トラクター説明会 乗車研修D①						
	応用技術研修	8月28日	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	トラクター A・B班:1年 C班:1・2年 D・E班:一般 8/26 オープンキャンパス③						
	1年園芸	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日							
	1年畜産	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日							
	2年園芸	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日	9月22日							
	2年畜産	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日							
	応用技術研修	9月28日	9月29日	9月30日	9月31日	10月1日							
	9 月	1年園芸	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日						
	1年畜産	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日							
2年園芸	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日	9月22日								
2年畜産	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日								
応用技術研修	9月28日	9月29日	9月30日	9月31日	10月1日								

9/30
推薦入試

研究ゼミ③

園芸経営論⑦【視察】
農学演習⑬

畜産環境保全①

農学演習⑪
農学演習⑫

農業法規⑤

実習

実習

実習

実習

(4)年間授業計画(令和5年度)

月	学年	月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜		備考	
		I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10		
12月	1年園芸	実習	11月27日	専攻別プロジェクト実績発表会	11月29日	プロジェクト計画発表会(1年)	11月30日	実習	12月1日	実習	12月1日	11/29専攻別プロジェクト発表会 プロジェクト計画発表会	
	1年畜産	家畜栄養④		GAP論①		プロジェクト実績発表会		実習		実習			12/9 日本農業技術 検定
	2年園芸	実習		畜産概論④		専攻別プロジェクト実績発表会		実習		実習			
	2年畜産	農学演習⑩		農学演習⑩		実習		実習		実習			12/15 応用化学Ⅱ② 畜産物利用論③ 農学演習⑭
	1年園芸	実習	12月4日	畜産概論④	12月5日	畜産概論④	12月6日	実習	12月7日	実習	12月8日		
	1年畜産	家畜栄養⑤		畜産概論④		畜産概論④		実習		実習			12/20 人工授精師研修(蒜山)
	2年園芸	実習		農学演習⑭		農学演習⑭		実習		実習			
	2年畜産	農学演習⑭		農学演習⑭		農学演習⑭		実習		実習			12/22 試験
	1年園芸	実習	12月11日	畜産概論⑤	12月12日	畜産概論⑤	12月13日	実習	12月14日	実習	12月15日		
	1年畜産	農政時事問題④		GAP論②		GAP論②		実習		実習			12/28 応用化学Ⅱ③ 土壌肥料概論⑦
	2年園芸	農学演習⑳		農学演習⑳		農学演習⑳		実習		実習			
	2年畜産	農学演習⑳		農学演習⑳		農学演習⑳		実習		実習			12/29 試験
1年園芸	実習	12月18日	畜産概論⑥	12月19日	畜産概論⑥	12月20日	実習	12月21日	実習	12月22日	12/29 試験		
1年畜産	農政時事問題⑤		GAP論③		GAP論③		実習		実習			12/29 試験	
2年園芸	実習		畜産概論⑥		畜産概論⑥		実習		実習		12/29 試験		
2年畜産	農学演習㉑		農学演習㉑		農学演習㉑		実習		実習			12/29 試験	
1年園芸	実習	12月25日	畜産概論⑦	12月26日	畜産概論⑦	12月27日	実習	12月28日	実習	12月29日	12/29 試験		
1年畜産	農政時事問題⑥		GAP論④		GAP論④		実習		実習			12/29 試験	
2年園芸	実習		畜産概論⑦		畜産概論⑦		実習		実習		12/29 試験		
2年畜産	農学演習㉒		農学演習㉒		農学演習㉒		実習		実習			12/29 試験	
1年園芸	実習	1月1日	畜産概論⑧	1月2日	畜産概論⑧	1月3日	実習	1月4日	実習	1月5日	12/29 試験		
1年畜産	農政時事問題⑦		GAP論⑤		GAP論⑤		実習		実習			12/29 試験	
2年園芸	実習		畜産概論⑧		畜産概論⑧		実習		実習		12/29 試験		
2年畜産	農学演習㉓		農学演習㉓		農学演習㉓		実習		実習			12/29 試験	
1年園芸	実習	1月8日	畜産概論⑨	1月9日	畜産概論⑨	1月10日	実習	1月11日	実習	1月12日	12/29 試験		
1年畜産	農政時事問題⑧		GAP論⑥		GAP論⑥		実習		実習			12/29 試験	
2年園芸	実習		畜産概論⑨		畜産概論⑨		実習		実習		12/29 試験		
2年畜産	農学演習㉔		農学演習㉔		農学演習㉔		実習		実習			12/29 試験	
1年園芸	実習	1月15日	畜産概論⑩	1月16日	畜産概論⑩	1月17日	実習	1月18日	実習	1月19日	1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)		
1年畜産	農政時事問題⑨		GAP論⑦		GAP論⑦		実習		実習			1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)	
2年園芸	実習		畜産概論⑩		畜産概論⑩		実習		実習		1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)		
2年畜産	農学演習㉕		農学演習㉕		農学演習㉕		実習		実習			1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)	
1年園芸	実習	1月22日	畜産概論⑪	1月23日	畜産概論⑪	1月24日	実習	1月25日	実習	1月26日	1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)		
1年畜産	農政時事問題⑩		GAP論⑧		GAP論⑧		実習		実習			1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)	
2年園芸	実習		畜産概論⑪		畜産概論⑪		実習		実習		1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)		
2年畜産	農学演習㉖		農学演習㉖		農学演習㉖		実習		実習			1/18・19 中国四国プロジェクト プロジェクト発表会(岡山)	

冬期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)

冬期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)

(4)年間授業計画(令和5年度)

月	学年	月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜		備考	
		I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10	I・II 8:50~12:00	III・IV 13:00~16:10				
2月	1年園芸 1年畜産	1月29日	III・IV 13:00~16:10	1月30日	III・IV 13:00~16:10	1月31日	I・II 8:50~12:00	2月1日	III・IV 13:00~16:10	2月2日	I・II 8:50~12:00	2月上旬 県青年農業者 大会	
	2年園芸 2年畜産			校外研修 選択森林資源④⑤【視察】 実習		実習 実習 実習		6次化論 I ④ 実習 経営演習 II ②⑤		一般入試(後期) (学生休業日)			
	1年園芸 1年畜産	2月5日		2月6日		施設整備B② 施設整備B③ 施設整備A③ 実習		2月7日	2月8日	2月9日			2/11 危険物取扱者 試験
	2年園芸 2年畜産			施設整備A① 施設整備B① 実習		施設整備B② 施設整備B③ 施設整備A④ 家畜繁殖④ 経営演習 II ②⑥		2月8日	2月9日	2月10日	実習 実習 実習 実習 実習		
	1年園芸 1年畜産	2月12日		2月13日		経営演習 II ②⑦		2月14日	2月15日	2月16日		2月中旬 全国プロシエ ト・意見発表会 (東京) 2/16~ アーク溶接	
	2年園芸 2年畜産			社会科学基礎⑦ 人間と社会⑩ 経営演習 II ③④ 経営演習 II ③④		実習 実習 実習 実習		2月15日	2月16日	2月17日	実習 実習 実習 実習		
	応用技術研修	2月19日		2月20日		実習 実習		2月21日	2月22日	2月23日	実習 実習 実習 実習		
	1年園芸 1年畜産			校外研修 アーク実技A アーク実技B 2月27日		実習 実習 実習 実習		2月28日	2月29日	3月1日	実習 実習 実習 実習		
	3月	2年園芸 2年畜産	2月26日		2月27日		経営演習 II ④⑩ (卒業論文提出) アーク(学科) 2月26日		2月28日	2月29日	3月1日		2/28~ フォークリフト
		1年園芸 1年畜産			社会科学基礎⑧ くらしと環境⑤ (交通安全)		実習 実習 実習 実習		2月29日	3月1日	3月2日	実習 実習 実習 実習	
		応用技術研修	3月4日		3月5日		実習 実習		3月6日	3月7日	3月8日	試験 試験 試験 試験	
		1年園芸 1年畜産			くらしと環境④ (農業気象)		実習 実習		3月7日	3月8日	3月9日	実習 実習 実習 実習	
		1年園芸 1年畜産	3月11日		3月12日		実習 実習		3月13日	3月14日	3月15日		3/14 卒業式
		応用技術研修			実習 実習		実習 実習		3月14日	3月15日	3月16日	実習 実習	
		1年園芸 1年畜産	3月18日		3月19日		実習 実習		3月20日	3月21日	3月22日		3/18 終業式
		応用技術研修			実習 実習		実習 実習		3月21日	3月22日	3月23日	実習 実習	
1年園芸 1年畜産		3月25日		3月26日		実習 実習		3月27日	3月28日	3月29日		3/18 終業式	
応用技術研修				実習 実習		実習 実習		3月28日	3月29日	3月30日	実習 実習		

春期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)

春期休業(インターンシップ研修、プロジェクト研究)

(5) 専攻別演習・実習計画

ア 果樹コース

指導の重点と到達目標	1 年生	1 もも、ぶどうを中心とした岡山県の主要な果樹について、基礎的な栽培技術を習得する。 2 永年作物である果樹の特性を理解するため、実習を通じて生育状況の把握と観察力を養う。 [主な栽培管理] ・もも:人工受粉、摘果、袋掛け、収穫、施肥、土づくり、剪定、摘蕾、除草 ・ぶどう:ビニール被覆、新梢管理(芽かき、誘引、摘心)、植調剤処理、結実管理(花穂の整形、摘粒)、剪定、土づくり、除草 ・病害虫診断とその防除法									
	2 年生	1 将来の果樹経営のために重要な課題を取り上げ、プロジェクト活動を行う。 2 担当作物の栽培管理を通じて、高品質生産のための管理技術を身に付けるとともに、経営感覚を養う。 3 生育調査、品質調査を通じて調査方法の習得を行う。									
番号	ほ場	作目	品 種	1	2	3	4	5	6	7	8
16	ガラス温室 1a	ぶどう	紫苑	--x			△-☆	G-G	◇	◇	◆
17	ガラス温室 1a	ぶどう	瀬戸ジャイアンツ	--x			△-☆	G-G	◇	◇	◆
18	MMA温室 16a	ぶどう	マスカット・オブ・アレキサンドリア シャインマスカット ロザリオビアンコ 瀬戸ジャイアンツ、マスカットビオレ ゴールドフィンガー、オリエンタルスター、ナガノパープル	--x			△-☆	G-G	◇	◇	◆
19	MMA温室 4,8a	ぶどう	ピオーネ オーロラブラック シャインマスカット	--x			△-☆	G-G	◇	◆	
38	簡易被覆 10a	ぶどう	ピオーネ オーロラブラック シャインマスカット クイーンニーナ	--x			∩-△-☆	G-G	◇	◆	
36 37 41	露地 20a	もも	はなよめ、加納岩白桃 さきがけはくとう、夢あさま 白鳳、あかつき、なつごころ 清水白桃、おかやま夢白桃 白麗、白皇、白露、黄金桃	x-▼	▼	▼	●	◇	◆	□	□
40	露地 4a	かき	富有、次郎 太秋、西条 愛宕、早秋		x			○	◇	◇	
39	露地 5a	すもも	大石早生、李王		x		●	◇	□	□	□

凡例 x:剪定、▲:加温、▼:摘蕾、∩:ビニール被覆、△:発芽、☆:芽かき、○:開花、●:人工授粉、G:ホルモン:

、袋かけ、収穫、施肥、				演習計画	
				1 1年間の栽培計画とプロジェクト実施計画の作成 2 生育調査、果実品質調査の実施 3 文献及び現地講習等による栽培技術の学習 4 調査結果の取りまとめと分析 5 プロジェクト発表(準備)	
9	10	11	12	ねらい	研究課題
	□□□□□#			・紫苑の栽培技術の習得	・房形の優れる栽培方法の検討
	□□□□#			・瀬戸ジャイアントの栽培技術習得	
			□□□□□□□□□□□-#	・欧州系ぶどう品種の施設栽培技術の習得 ・無核栽培技術の習得 ・若木の育成技術の習得	・房形の優れる栽培方法の検討 ・着色向上技術の検討
	□□□	#		・欧米雑種品種の基本技術の習得 ・ぶどうの若木育成技術の習得	・花房管理の省力化の検討
	□□□	#		・欧米雑種ぶどう品種の基本技術の習得 ・ぶどうの若木育成技術の習得	・着色改善技術の検討 ・大粒化に向けた植調剤処理
	□□□	#		・ももの基本技術を習得 ・ももの若木育成技術の習得	・安定生産、品質向上対策の検討 ・効率的な除草方法の検討
	□□□□	#		・かきの基本技術の習得	
	#			・すももの基本技術の習得	

処理、◇:摘果、◆:袋(笠)掛け、□:収穫、#:施肥・土作り

イ 野菜コース

指導の重点と到達目標	1年生	1 野菜全般の栽培管理や施設管理を体験し、野菜の作型や輪作体系を理解し基礎的栽培技術を習得 2 プロジェクト学習計画を樹立する。 3 主な学習項目 有機物施用法、基肥施用法、耕うん法、播種法、間引き法、接ぎ木法、定植法、灌水法、整枝・誘引法、収穫・選別・荷造り法、病害虫診断・防除法、雑草管理法、土壌消毒法、育苗培土の配合と消張カーテンの張り方、暖房機の整備法、ハウス温度管理技術、電熱温床の作り方、育苗管理技術、土い方)、収穫物の糖度測定法、プロジェクト学習計画の樹立
	2年生	1 プロジェクト学習として、作目を選定し、研究課題を設定して一貫した圃場管理を担当する。 2 経営管理面では労働時間及び生産(コスト)費、販売量、売上高を把握し、現状分析と将来の営農計画 3 主な学習項目 主要農薬の混用法、除草剤の使用法、植物成長調整剤の利用法、土壌病害虫の防除法、追肥施用法、被覆資材利用法、電照方法、プロジェクト学習の調査結果分析法、将来営農計画の樹立

番号	ほ場	作目	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	エフクリーン (R.W.) 210m ²	ピーマン			△	●	○		□□□□□□□□□□□□		
2	エフクリーン 210m ²	ミニトマト			△	●	○		□□□□□□□□□□□□		
3	エフクリーン (養液土耕) 210m ²	トマト			△	●	○		□□□□□□□□□□□□		
4	エフクリーン 210m ²	イチゴ(育苗)			△				◎		
6	FRA (育苗施設) 150m ²	野菜苗全般	(ナス、トマト、キュウリ、葉菜類等)								
7	ビニール 120m ²	アスパラガス 軟弱野菜						□□□□□□□□□□			
			△	□□	△	□□	△	□□	△	□□	
8	MMA 216m ²	ピーマン			△	●		□□□□□□□□□□□□			
9	PO 180m ²	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□□□								

凡例 △: 播種or親株植付、▼: 接ぎ木、●: 移植、◎: 採苗、※: 遮光、○: 定植、□: 収穫

する。

と、マルチングの方法、中耕・土寄せ
毒法、ビニールハウスの被覆法、内
土壌分析法(塩類濃度・pH測定器の使

画を樹立する。

法、葉面散布法、収穫物の鮮度保持

- 演習計画
- 1 プロジェクト計画の樹立
 - 2 生育調査、収穫調査、コスト調査、市場性調査の実施
 - 3 プロジェクトの遂行中に生じた問題点の原因究明
 - 4 最新の栽培技術情報の収集とその理論の学習
 - 5 プロジェクト調査結果のとりまとめ
 - 6 プロジェクト発表の準備

9	10	11	12	ねらい	研究課題
□□□□□□□'				・ピーマン栽培の基礎技術の習得	
□□□□				・ミニトマトの栽培技術の習得	
□□□□□□□'				・トマトの栽培技術の習得	・単位結果品種の大玉化技術の検討
---○				・イチゴの育苗技術の習得	
				・野菜育苗の基礎技術の習得	
□□□□□□----- -----□□ △-----□□				・アスパラガスのハウス栽培技術 及び軟弱野菜の周年栽培技術 の習得	
□□□□□				・ピーマンの栽培技術の習得	・単為結果性品種の品種比較及び定 植時期の検討
○-----□□				・イチゴの高設栽培技術の習得	・密植栽培が品質に及ぼす影響

イ 野菜コース2

番号	ほ場	作目	1	2	3	4	5	6	7	8
10	MMA 216㎡	メロン			△		●		□□□	
11	PO 180㎡	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□							
12	MMA 216㎡	ピーマン			△		●		□□□□□□□□□□	
13	PO 180㎡	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□							
14	PO 180㎡	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□							
34	露地	ナス オクラ		△	▼		●	○	○	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□
15	(有機ハウス) ビニール 216㎡ (有機露地)	ニンジン、ダイコン カボチャ			△		△		□□□□□	□□
35	露地	アスパラガス							□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□
44	露地 (畜産ほ場)	玉ねぎ							□	

凡例 △:播種or親株植付、▼:接ぎ木、●:移植、◎:採苗、○:定植、□:収穫

9	10	11	12	ねらい	研究課題
				・メロンの栽培技術の習得	
	○-----		□□	・イチゴの高設栽培技術の習得	・育苗期の苗切り離し時期が生育に及ぼす影響
□□□□□□				・ピーマンの栽培技術の習得	
	○-----		□□	・イチゴの高設栽培技術の習得	・育苗期の葉数の違いが及ぼす影響
	○-----		□□	・イチゴの高設栽培技術の習得	
□□□□□□□ □□□□□□□				・ナスの露地栽培技術の習得 ・オクラの栽培技術の習得	・ナスの品種比較検討 ・オクラ果実への遮光が果実硬度に及ぼす影響
□□				・有機無農薬栽培の基礎技術の習得	
□□□□□□□	-----			・アスパラガス栽培の基礎技術の習得	
△-----	○-----			・玉ねぎの栽培技術の習得	・玉ねぎのチェーンポットを活用した遅植え方法の検討

ウ 花きコース

指導の重点と到達目標	1年生	1 主要花きの基礎的な栽培技術や施設管理を習得する。 栽培技術: 播種、育苗、ほ場準備、定植、かん水管理、温度管理、病害虫防除、収穫、出荷調整、灌水施肥同時 施設管理: 被覆資材の保守・張替、暖房機の保守点検、防除機やトラクター、土壌消毒機等、管理用機械の使用 2 主要花きの基礎的な栽培に関する知識を習得することにより、観察力や栽培管理に関する問題意識を持たせ、2 を行う。
	2年生	1 プロジェクト課題は各自の問題意識に基づいて設定し、各品目や目的に応じた栽培管理、調査、結果の取りまとめを主体的に樹立するとともに、栽培管理及び施設管理を担当し、担当品目について専門的な知識と技術を習得する。 2 プロジェクト課題をふまえた経営分析を行い、経営設計を樹立する。

番号	ほ場	作 目	1	2	3	4	5	6	7	8
20	ガラスハウス 98㎡	ガーデンシクラメン		△ ~ △	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ☆			
		花壇苗		△ ~ △	☆ ~ ☆	□ □				△ ~ ~ ☆
21	ガラスハウス 98㎡	ラークスパー			× □ □	□ □			◆ ◆ △	○
22	ガラスハウス 98㎡	カーネーション	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □ □	□	○	×	×
23	ガラスハウス 99㎡	シクラメン	~ △ ~	~ ~ ~	~ ~ ☆			☆		
24	育苗温室 104㎡	花壇苗・鉢物等	~ ~ ~	△ ~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~
25	組織培養 順化室 90㎡	キク、カーネーション等	---	---	--- ☆	---	□ □ □			
		各品目育苗	△ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~
26	ガラスハウス 241㎡	スプレーバラ	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □
27	ガラスハウス 201㎡	スタンダードバラ	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	▼
28	硬質プラス チックハウス 103㎡	花壇苗(春出荷)	△	~ ☆		□ □ □ □				
		(夏~秋出荷)				△ ~ ☆		□ □	△	~ ~ ☆
		(秋~冬出荷)								△
29-1	ビニルハウス 133㎡	スイートピー	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□			△	~ ~ ~
29-2	ビニルハウス 130㎡	キク親株		×		□ □ □	□ □			
		宿根かすみ草			×			□ □ □	×	
30	硬質プラス チックハウス 300㎡	ブプレウラム	△	~ ○		□ □ □				△
		秋ギク(電照)			□ □ □					◇
31	夜冷育苗 ハウス 39㎡	ラークスパー								△ ~ ~
		ハボタン								△ ~ ~
		パンジー								△ ~ ~ ~
33	ビニルハウス 66㎡	小ギク				◇ ~ ○	×		□ □ □	
42	露地 100㎡	小ギク					◇ ~ ○	×		
43	露地 100㎡	リンドウ			△	~ ~ ~	~ ~ ○			□ □ □
		花壇苗等露地花き							□ □	□ □ □

凡例 △: 播種or発芽、~: 育苗、◇: 挿し芽、&: 接ぎ木、●: 移植、▼: 摘蕾、○: 定植、☆: 鉢上げor鉢替え、×: 摘心、□: 収穫

5用等、基本技術の習得 去の習得 手次の個別プロジェクトの課題設定を	演習計画			
	1 プロジェクト課題品目の特性や栽培上の問題点の調査 2 栽培計画及び調査課題の設計 3 病害虫診断と対策 4 生産、消費の動向、市場調査 5 調査結果の取りまとめ、分析方法の研究 6 プロジェクト発表の準備			

9	10	11	12	ねらい	研究課題
	□ □ □	□ □ □		・パンジー、ペチュニア等花壇苗生産技術の習得	・パンジーの早期出荷のための検討
	△ □ □	○ □ □	×	・ラークスパーの切り花生産技術の習得	・新たな発芽方法の検討
		□ □ □ □	□ □ □	・カーネーションの切り花生産技術の習得	・植え付け間隔、培土の違いによる労力、コストへの影響の検討
		□ □	△ ~ □ □ □	・シクラメンの高品質生産技術の習得	・新たな培土による安定生産技術の検討
~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	・播種倍土、育苗倍土の生産技術の習得	・発芽、育苗に適した培土の検討
			☆ ~ ~ ~	・組織培養苗の順化技術の習得 ・各品目繁殖方法の習得	・組織培養苗の順化中の管理方法の習得 ・種子繁殖、栄養繁殖苗の管理方法の習得
□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	・スプレーバラの高品質生産技術の習得	・プランターを利用したアーチング栽培における培地組成及び二酸化炭素施用効果の検討
□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	・スタンダードバラの高品質生産技術の習得	・ハイラック仕立ての栽培管理の習得
□ □ □	□ □ □		□ □	・花壇苗生産技術の習得	・灌水、施肥方法や温度管理の検討
○		□ □ □	□ □ □	・スイートピーの栽培技術の習得	・安定生産技術の検討
	○			・親株管理技術の習得 ・宿根かすみ草の管理作業の習得	・良質苗確保のための管理方法の検討 ・摘心時期の検討
~ ~ ○	△ ~	~ ○	□ □ □	・ブプレウラムの栽培技術の習得	・安定生産技術の検討
			□ □	・キクの電照栽培技術の習得	・電照による開花調節技術の検討
~ ~ ~				・冷房育苗技術の習得	・苗の安定生産技術の検討
				・小ギク8月出荷における病害虫防除及び栽培技術の習得	・マルチ資材によるアブラムシ忌避効果の検討 ・開花遅延抑制技術の検討
□ □ □				・小ギク9月出荷における病害虫防除及び栽培技術の習得	・同一品種による9月出荷作型の検討
□ □ □				・リンドウ栽培技術の習得	・極早生品種の生育促進の検討 ・高温障害回避技術の検討
				・露地花き品目の栽培技術の習得	・灌水方法や植栽密度の検討

◆: 冷蔵

エ 畜産課程(和牛コース)

指導の重点と到達目標	学年	1年生																
	本校	1 飼料作物の栽培管理及び収穫調製技術を習得する。 2 家畜市場等を調査する。 3 先進農家を視察研修する。 4 農業機械の基本的な運転技術を習得する。													1 家畜の飼養管理技術を習得(分校実習)する。 2 プロジェクト課題を設計する。 3 プロジェクト調査結果をとりまとめる。			
分校等	1 家畜の飼養管理技術を習得(分校実習)する。 2 より実践的な飼養管理技術を習得(校外実習)する。													1 家畜の飼養管理を行う。 2 飼料作物生産、調製、貯蔵、利用技術 3 家畜市場等を調査する。 4 先進農家を視察研修する。 5 プロジェクト調査研究を行う。 6 各種資格を取得する。 (家畜人工授精師、2級削蹄師、家				
作目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
飼料作物	冬作 (イタリアンライグラス)		□		□													
	夏作 (トウモロコシ)			○				□										
	夏作 (スーダングラス等)					○			□									
	いも類		○						□									
家畜管理・二年次	繁殖管理																↔	
	哺育・育成管理											↔						
	肥育家畜管理																	
	種雄家畜管理																	
	畜産環境保全											←						---
	飼料作物管理																	↔
	校外研修																	↔

【凡例】 △:播種、□収穫

2年生								演習計画	ねらい	研究課題
習)する。		1 プロジェクト課題を取りまとめる。 2 卒業論文を取りまとめる。								
術を習得する。								1 飼料作物の乾草調製 2 家畜の一般管理 3 畜産環境保全及び堆肥化 4 プロジェクト課題の設計 5 プロジェクト調査・研究 6 プロジェクト調査結果の取りまとめ、発表演習 7 家畜の審査 8 畜産物の流通・市場動向調査		
畜商)										
3	9	10	11	12	1	2	3			
		○								
								<ul style="list-style-type: none"> 飼料作物の栽培体型 堆肥を利用した施肥設計 サイレージ、乾草調製技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 飼料作物別の施肥設計の検討 サイレージ化に合った刈取適期の検討 乾草生産と生産歩留まりの検討 飼料作物品種比較 牧野の害草防除及び病害虫の防除技術の検討 	
								<ul style="list-style-type: none"> 繁殖家畜の飼養管理技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 種付適期と人工授精 	
								<ul style="list-style-type: none"> 哺育・育成牛の飼養管理技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 若齢家畜の発育と育成技術 	
		↔						<ul style="list-style-type: none"> 肥育家畜の飼養管理技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 家畜の交配と肉質 家畜肥育管理 	
		↔						<ul style="list-style-type: none"> 種雄家畜の飼養管理技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 種雄牛の改良 精液検査 	
		----->						<ul style="list-style-type: none"> 畜産環境保全及び堆肥生産技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 家畜ふん尿処理及び利用 	
								<ul style="list-style-type: none"> 飼料作物の栽培管理・技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 飼料作物の品質とその特徴 	
	↔							<ul style="list-style-type: none"> より実践的な飼養管理技術を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 先進農家の実態と経営 	

オ 作物(共通)

内 容			1	2	3	4	5	6	7	8
指導の重点と到達目	1・2年生	1 水稻の栽培体系及び栽培技術を習得する。	排水対策 土作り			播種 育苗 耕代 機械 施肥 除	種 管 理 起 き 植 肥 草		病害虫防 水管	
作目			1	2	3	4	5	6	7	8
水 稻	機械移植(263a) (品種:ヒノヒカリ) (品種:アケボノ)						△-----○----- △-----○-----			

凡例 △:播種 ○:移植 □:収穫

(6) 総括学習

指導の重点と到達目標	1 地域の農業環境条件の特性と営農状況との関係を理解する。 2 合理的な農業経営に関する知識・技術について理解する。 3 経営改善、地域農業振興の方法、手順について学習する。 4 プロジェクト研究の意義と方法・手順・とりまとめについて学習する。	[農業経営計画の作成] 1 我が家(地域)の農業経営の実態と問題点を把握する。 2 農業経営改善計画の作成方法・手法を理解する。 (1)経営目標と経営条件 (2)作目編成と作目規模 (3)部門計画、全体計画 3 パソコンを利用して経営実態や経営計画のとりまとめを行								
総括学習 (卒業論文)	項 目	1 「私の農業経営計画」の作成(2年生) 2 プロジェクト研究(2年生)	1月	2	3	4	5	6	7	8
	内 容	●農業経営計画 ○プロジェクト学習	○ 計 画 立 案 エ ク ト			○ 計 画 発 表 エ ク ト	● 経 営 計 画 準 備	○ 中 間 発 表 エ ク ト	○ 中 間 発 表 エ ク ト	

9	10	11	12	1	2	3		
除	収	穫	耕	起			(実習内容) 1 大型トラクターによる耕起作業 2 自動播種機による籾の播種作業 3 乗用田植機による移植作業 4 除草作業 5 ドローン等による防除作業 6 自脱型コンバインによる収穫作業	
理							ねらい	研究課題
---□□ ----□□							日本農業の基幹をなす水稲栽培を通じ、田植や防除、収穫等の機械化省力化体系を習得	水稲の生育・収量比較及び機械化による省力化

う。							[プロジェクト研究] 1 課題の選定: 農業経営の実態と問題点を把握する。 2 問題解決の方法: 問題の発生原因の考察、解決の方法・手順の検討、計画の樹立を行う。 3 プロジェクト研究: 栽培—調査—分析により検討する。 4 研究成果のとりまとめ: 調査分析資料の整理とりまとめを行う。	
9	10	11	12	1	2	3	ねらい	研究課題
●-----● -----○ ● 経 営 成 計 準 備 ○ プ ま じ め エ ク ト ○ プ 発 表 エ ク ト ● 経 営 成 計 準 備							1 農業経営の現況と問題点の理解 2 経営改善、地域農業振興の方法、手順の理解 3 プロジェクト研究の意義と方法、手順の理解 4 調査、分析診断、計画・整理の理解、能力の養成	1 学習成果の点検(復習)、補完学習の必要な科目事項の整理 2 地域農業や我が家の農業経営に関する問題点の分析、実践計画の作成 3 資料作成、発表方法の習得

(7) 資格・免許の取得

- ◆在学中に次の資格・免許を取得する機会が与えられる。
- ◆それぞれ事前に受験のための講習会、研修会等を実施する。

資格・免許	対 象	試験日等	
刈払機取扱作業安全衛生教育	1年次	4月中旬	
危険物取扱者	}	6月、10月、2月	
フラワー装飾技能士		6～9月、12～2月	
日本農業技術検定		7月、12月	
農業簿記検定		7月、11月	
狩猟免許(わな猟)		7月～11月	
小型車両系建設機械運転特別教育		1年次、2年次	7月下旬
毒物劇物取扱者		10月	
大型特殊自動車免許(農耕車限定)		8月～9月	
けん引免許(農耕車限定)		10月～11月	
フォークリフト運転技能講習		3月上旬～3月中旬	
アーク溶接特別教育		2月下旬	
家畜人工授精師		2年次	11月下旬～12月下旬
2級認定牛削蹄師		1年次	11月下旬
家畜商免許	1年又は2年次	2月(2年に1回)	

6 学習評価基準

各授業科目の評価は、岡山県農林水産総合センター農業大学校校則第20条及び第21条の規定によるほか、次に掲げるとおりとする。

(1) 各授業科目の評価を受ける資格は、講義等においては出席時数が授業時間の70%以上、実習においては90%以上とする。

なお、正当な理由がなく遅刻、早退した場合は、3回について1回の欠席と見なす。

(2) 評価は100点法により60点以上を合格とし、60点未満は不合格とする。

(3) 講義科目の試験は、各授業科目の定められた所定の授業時間が終了した後、随時行う。

(4) 講義等において、学生心得第7条、8条、9条、10条に基づき校長へ届出をした者で、校長が特にやむを得ないと認めた者については、出席時数が不足している場合でも評価の対象とする。

(5) その他(単位数)

本校は学年制であり、単位制ではないが、単位の互換性等を考慮して、単位の取得を以下のとおり定める。

①講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で1単位とする。

②実験、実習、実技については、30時間から45時間までの範囲で1単位とする。

7 教育・生活日課表

時 刻	日 課	摘 要
7:00	起 床	○講義・実習は都合により変更する場 合がある。
7:20	点 呼	
7:20～ 8:20	清 掃 ・ 自 習	○集会室、談話室の使用は22時までと する。
8:00～ 8:45	朝 食	
8:50～10:20	授 業①	○火曜日と金曜日は寮内清掃を行う。
10:20～10:30	休 憩	
10:30～12:00	授 業②	
12:00～13:00	昼 休	
13:00～14:30	授 業③	
14:30～14:40	休 憩	
14:40～16:10	授 業④	
16:10～17:30	補習・クラブ活動	
17:00～19:00	夕 食	
17:00～21:45	入 浴	
20:00～22:00	自治会活動・自習	
22:00	門 限 ・ 点 呼	
22:30	消 灯	

8 先進農家留学研修実施要領

1 目的

県内外の先進農家等の優れた経営の中で、農作業や生活を体験し、経営者の知識、技術や経営感覚、さらには人間性を肌で感じることにより、自らの実践力の向上や人間的な成長につなげるとともに、将来の営農計画の糧とする。

2 実施主体

岡山県農林水産総合センター農業大学校

3 対象学年及び実施期間等

対象学年	実施期間	実施時期	
1年生	31日	前期	6月12日(月)～6月30日(金) 〈19日〉
		後期	9月25日(月)～10月6日(金) 〈12日〉

原則として前期・後期とも同一農家とする。

4 研修先

農業士及び農業経営や技術の優れた先進農家等とする。

5 研修期間中における指導

- (1) 学生は研修期間中、受入農家の一員としてその経営に従事し働きながら学ぶ。
- (2) 受入農家は、学生の学習計画について研修地の農業普及指導センター及び農業大学校と協議し、計画的な学習指導を行う。
- (3) 学生による農耕車両(トラクター、耕耘機、テラー等)の運転は、ほ場内に限る。学生による自動車(軽四トラック等)の運転は認めない。
- (4) 受入農家は、期間中、学生の病気及び作業事故等の防止、特に農業機械等の取扱いには十分注意し、万一事故が発生した場合は、直ちに農業大学校、農業普及指導センターに連絡する。
- (5) 農業大学校及び農業普及指導センターは期間中に適宜巡回し、指導を行う。

6 経費

農業大学校費予算の範囲内で処置する。

7 学生の研修報告書の提出

学生は、研修終了後10日以内に、別に定める報告様式により校長に提出する。

8 その他

学生の受入農家への交通手段は、原則として交通機関等を利用する。

なお、自家用車を利用する場合は、許可願を提出し、農業大学校の許可を得る。

9 短期研修等実施計画

近年、農業技術は近代化・専門化・多様化の方向に進展しており、営農に関する知識、技術、資格は就農に必要不可欠の要件になりつつある。

このため、農業大学校では地域農業の担い手を養成する観点から、新規参入者を含む青年農業者等を対象に、先進的な農業を営む上で必要な知識、技能について研修を行う。

このため、次のとおり応用技術研修を実施する。

(1) 応用技術研修

一定の資格を取得していることが望ましい事項について、以下の研修を行う。

- ・ 小型車両系建設機械操作技術
- ・ トラクター運転技術
- ・ トラクターけん引運転研修
- ・ アーク溶接技術
- ・ フォークリフト運転技術

10 令和5年度応用技術研修等計画

研修種目	研修内容	場 所	時 期	対象・ 人員	講 師
刈払機取扱作業 者安全衛生教育	1 刈払機作業の安全性の確保 2 作業者に対する振動障害の防止 3 以上に必要な知識等を付与する	農業大学校	4/14 (1日)	学生 のみ	ロイヤルパ ワーアップスク ール福山校
小型車両系建設 機械操作技術	1 機械の取り扱い、関連法規 (講義) 2 機体重量3トン未満のパワーシ ョベル等の操作技術	農業大学校	7/12～13 (2日)	40名 程度	民間企業
トラクター 運転技術	1 農耕用トラクターによる公道で の運転技術 2 大型特殊自動車運転免許試験 (農耕車限定)	農業大学校 試験：運転免許 センター	8/18～9/22 (6日)	40名 程度	民間企業
トラクター けん引運転技術	1 農耕用トラクターによる公道で のけん引運転技術 2 大型特殊自動車けん引運転免許 試験(農耕車限定)	農業大学校 試験：運転免許 センター	10/13～11/20 (5日)	30名 程度	民間企業
アーク溶接技術	1 アーク溶接機械の取り扱い、関 連法規(講義) 2 アーク溶接の実技	農業大学校	2/16～22 (4日)	40名 程度	労働基準 協会
フォークリフト 運転技能	1 機械の取り扱い、関連法規 (講義、試験) 2 最大荷重1トン以上のフォーク リフトの操作技能講習 実技試験	農業大学校	2/28～3/11 (5日)	40名 程度	労働基準 協会
危険物取扱	乙4類危険物取扱者資格 引火性液体ガソリン、灯油、軽油 エタノールなど その他危険物取扱者資格	農業大学校 試験：県内会場	研修：12～1月 (5日) 試験：6, 10, 2月	学生 のみ	農大職員
毒劇物取扱	毒物劇物取扱者資格 毒物及び劇物に関する法規基礎 科学、毒物劇物の性状及び取扱 方法、実地試験	農業大学校 試験：県内会場	研修：7～9月 (5日) 試験10月	学生 のみ	農大職員
狩猟免許	狩猟についての必要な知識、技能	農業大学校 試験：県内会場	研修：5/10 試験：7～11月	学生 のみ	専門家 県職員
フラワー技能	フラワー装飾技能士資格	農業大学校 試験：農業大学校	研修：5～6月 (5日) 試験：7, 12月	学生 のみ	専門家
日本農業技術 検定	2級：農作物の栽培管理の基本 1級：高度な知識・技術	農業大学校 試験：農業大学校	研修：7, 12月 試験：7, 12月	学生 のみ	農大職員
農業簿記検定	農業簿記についての必要な知識	農業大学校 試験：三徳園	研修5月 (4日) 試験：7, 11月	学生 のみ	農大職員
2級認定 牛削蹄師	2級認定牛削蹄師免許取得	酪農大学校	11月	学生 のみ	専門家
家畜人工授精師	家畜人工授精師免許資格取得	酪農大学校	11～12月	学生 のみ	酪農 大学校

1 1 令和5年度主要行事予定（農業大学校）

行事名		令和5年度	(参考) 令和4年度実績
始業式		4月10日(月) 午後	4月8日(金)
入学式		4月10日(月) 午前	4月11日(月)
新入生オリエンテーション		4月11日(火)	4月12日(火)
プロジェクト計画発表会(2年生)		4月25日(火)	4月21日(木)
農大新鮮市		野菜の日(4/22) 果樹の日(9/9) 花きの日(11/25)	野菜の日(4/23)果樹の日(中止) 花きの日(中止)
プロジェクト中間発表会(2年生)		5月16日(火) 6月6日(火) 7月11日(火) 9月5日(火) 10月24日(火)	5月18日(水) ~ 7月15日(金) 10月20日(木)
中国四国ブロック農業大学校長・同窓会 代表者会議		広島県(未定)	高知県 7月19日(火)リモート開催 (6月2日(木) ~ 6月3日(金))
先進農家留学研修 (1年生)	前期	6月12日(月) ~ 6月30日(金)	6月13日(月) ~ 7月1日(金)
	後期	9月25日(月) ~ 10月6日(金)	(中止) (9月26日(月) ~ 10月7日(金))
アグリ・夢・みらい塾(就農希望者等)		7月24日(月) 三徳園	7月20日(水) 三徳園
オープンキャンパス		6月10日(土) 7月29日(土) 8月26日(土)	6月11日(土) 7月30日(土) 8月27日(土)
中国四国ブロック農業大学校等教務・研修 担当者会議		山口県(未定)	中国四国酪農大学校(中止) (8月4日(木) ~ 8月5日(金))
入学試験	推 薦	9月30日(土)	10月1日(土)
	一般前期	11月17日(金)	11月18日(金)
	一般後期	2月2日(金)	2月3日(金)
収穫祭		10月14日(土) (未定)	(中止) (10月15日(土))
中国ブロック農業大学校研修生のつどい		山口県 10月19日(木) ~ 10月20日(金)	島根県(中止) (10月11日(火) ~ 10月12日(水))
プロジェクト専攻別実績発表会(2年生)		11月29日(水)	11月30日(水)
プロジェクト実績発表会(2年生)		12月13日(水) ~ 12月14日(木)	12月14日(水) ~ 12月15日(木)
プロジェクト計画発表会(1年生)		11月29日(水)	12月19日(月)
中国四国プロジェクト等発表会		岡山県 1月18日(木) ~ 1月19日(金)	香川県 1月18日(水) ~ 1月19日(木)
全国プロジェクト発表会・意見発表会		2月中旬(予定)	2月7日(火) ~ 2月8日(水)
卒業式		3月14日(木)	3月13日(月)
定期休業	夏 季	7月31日(月) ~ 8月18日(金)	8月1日(月) ~ 8月19日(金)
	冬 季	12月24日(日) ~ 1月7日(日)	12月24日(土) ~ 1月7日(土)
	春 季	3月19日(火) ~ 4月7日(日)	3月19日(日) ~ 4月7日(金)

1 2 施設配置図



野菜専攻ハウス	No1~15,45,46	3,031m ²
果樹専攻ハウス	No16~19	2,357m ²
花き専攻ハウス	No20~33	1,800m ²
野菜専攻露地ほ場	No34,35	13a
果樹専攻露地ほ場	No36~41	43a
花き専攻露地ほ場	No42,43	2a
畜産専攻露地ほ場	No44	30a
水田		263a